

シールド塗料 導電性電磁波シールド

本品の用途：高周波・低周波の電磁波の遮蔽。例えば、携帯電話基地局、地デジテレビ無線局(TDT)、無線アンテナ、Wi-Fi、無線LAN、港・空港のレーダー、デジタルコードレス電話(DECT)およびワイヤレスネットワークの電磁波を遮断します。本品のご利用は、簡易移動電話網のデータ傍受を防止したり、会話の盗聴防止に有効です。また、ご家庭では、不眠や免疫力の低下をはじめ、マイクロ波に継続的にさらされることに起因するその他症状や疾病など、人間の生活の質に多大な影響を及ぼす高周波・低周波の電磁波の遮蔽にご利用いただけます。

密度	1,20 ± 0,05 g/cm ³
PH	8 ± 0,5
固形分率	55 ± 5
容器サイズ	4 L容器、12.5 L容器、15 L容器
使用期限・容器について	もとの容器にて保存してください。完全にふたして、直射日光や凍結を避けてください。上記の条件を厳守しない場合、12か月以上の保存期間を保証しかねます。弊社で使用している容器は再生ポリプロピレン製です。再生容器の製造では多くのエネルギー削減に成功しました。
成分配合表示	グラファイト (graphite), 炭酸カルシウム (calcium carbonate), 水 (water), スチレンアクリル樹脂 (styrene acrylic resin), グラフェン (graphene), 界面活性剤 (surfactants), 安定剤・特定分散剤 (stabilizers and specific dispersants),
粘着性について	容器内ではツヤなし黒色をした濃度の高い液体状で、時間の経過とともに粘度が上昇するが特性を損なわない。(製品が均一な状態になるよう、必ずよく混ぜてから塗布してください)
仕上げ	ツヤなし黒色
使用場所	屋内・屋外
溶液 (希釈剤)	上水、ローラー、ハケ、スプレーでの塗布がしやすくなるまで上水を加えます。塗装作業で使用するすべての塗料に同量の水を加えて希釈してください。
塗装用具	ローラーパケ(中毛)、ハケ、ブラシ、エアレススプレー、その他の吹付け器。

本シートにて指定された使用方法・条件にしたがわない使用の場合、製造者は製品に関する一切の責任を負いかねます。



シールド塗料 導電性電磁波シールド



塗布間隔

塗布間隔: 8~10時間 (20 °C・相対湿度65%)
 乾燥時間: 24時間 (20 °C・相対湿度55~65%) で完全乾燥。
 硬化の進行 (化学・物理的): 30日後に十分な硬化または耐久性を示します。

事前準備

- 塗布面が乾燥し、十分な強度があり、しっかり固定された状態であることを確認し、カビ、藻、コケ、塩、環境による汚染 (油汚れ、煤など) がない状態にしてください。塗料の付着の妨げとなるような物質や汚染物など (目立つか否かを問わず) いかなる不純物は除去してください。また、不適切な塗布面 (砂状化、ホコリや劣化等) があった場合に上水15%以上と適切なGraphenstone商品の水溶液で補修処理してから本塗布してください。
- 被塗物にはがれ、膨らみ、剥離が確認される場合、劣化した箇所を削り落とし、Graphenstoneパテなどの推奨品を用いて修正して頂くことをおすすめします。
- 塗布・下塗りの前にガラス面や金属面を養生してください。
- 壁面のカビ、コケ、藻、細菌類などのコロニー (集合体) は、水分、温度、栄養分の残存によるものです。したがって、時間が経過しても完璧な仕上げを得るには、これらのトラブルの元となった構造上の問題を解決した上で、コロニー等を除去してから塗布してください。

ご注意: しっくいやスタッコでの乾燥時間の目安として、厚さ1mmあたり1日の乾燥時間20 °C ・相対湿度65%)を確保してください。

施工方法

素地のタイプ: セメント、コンクリート、石灰、粘土またはクレイ
 塗布方法: ホコリを除去し、塗布面が凝集されていることや砂状化でないことを確認した上、ミネラルシーラントを適用の上、塗料を2、3回塗布します。

素地のタイプ: 補修用・レベリング用石膏パテやしっくい塗り
 塗布方法: 塗布面のホコリを丁寧に除去し、分離がないことを確認した上、塗料を5%に希釈して石膏パテやしっくいのパッチに1回目の塗装をし、塗料を2、3回塗布します。

素地のタイプ: 多孔質コンクリート
 塗布方法: ホコリがある場合にホコリを除去し、ミネラルシーラントまたは希釈率15%の塗料で塗装の上、塗料を2、3回塗布します。

素地のタイプ: コンクリート
 塗布方法: : 必要であれば、あらかじめ欠損部分や欠陥部をGraphenstone パテで修整し、ミネラルシーラントまたは希釈率15%の塗料で塗装の上、塗料を2、3回塗布します。

素地の種別: エマルジョン (つや消しタイプ) の合成樹脂塗料) 塗装面
 塗布方法: 塗装がしっかり付着した状態であることを確認の上、塗料を2、3回塗布します

素地の種別: 光沢 (つや有り) エマルジョン塗料・水性アクリル系エナメル塗装面
 塗布方法: 塗装がしっかり付着した状態であることを確認し、塗装面につなぎ用の石英プライマーを適用の上、塗料を2、3回塗布します

素地の種別: にかわ塗料、石灰塗料、その他鉱物 (無機) テンペラ塗料
 塗布方法: あらかじめミネラルシーラントまたは希釈率15%の塗料で塗装面全体を固め、塗料を2、3回塗布します。

本シートにて指定された使用方法・条件にしたがわない使用の場合、製造者は製品に関する一切の責任を負いかねます。



シールド塗料 導電性電磁波シールド



注意事項 シールド塗料の塗布面をアース線に設置してアース処理をする必要があります。アース処理用として、金属プレート(8 x 8 cm)を壁にビス留めしてください。この金属プレートにアースケーブルを接続し、コンセントのアース専用アダプターに接続します。(または金属製水道管かヒーター管に接続してください)。これらの接続工事は、有資格者が行うよう推奨します。

塗料に関する注意事項: 通常の作業で特別な病状のない人は特になし。お子さまの手の届かないところに保管してください。

施工時の気温・温度 施工時の気温および被塗物の温度は、最低7℃・最高32℃を超えないように注意してください。

道具等の洗浄 水と石けんで洗ってください。

廃棄物処理 各自治体の法令等にしがうこと。

理論的性能 塗料の塗布回数、被塗物、質感、さらに被塗物の吸収性等によって、以下の参考表の所要量の目安は増減することがあります。

素材 (リットル)	平方メートル (m ²)	塗り層
1L	6 m ²	2

認定証等

- * 電界シールド効果測定
- * 有機物の使用制限に関するDIN18363規格(ドイツ)
DIN18363規格の条件を満たす製品です(検査報告書 第B50028-001号、2015年4月14日)

グラフェン配合 グラフェンファイバーをベースとした製品であるため、弊社塗料は高い品質水準を満たす他、環境面からも非の打ちどころがなく、暮らしの環境を改善します。Graphenstoneはミネラル製品であるにもかかわらず、グラフェンを配合することによって、非常に優れた耐久性、屈曲、洗浄性を発揮します。さらに、製品の寿命を長くし、塗布後、質感や風合いを向上させます。

塗装時のご注意 (一般事項)

- ・被塗物に、毛細管現象、結露、水漏れによる湿気などのトラブルが見られた場合や被塗物が不安定である場合に良好な状態で維持されることは保証しかねます。これらの症状の原因が解決してから塗装してください。
- ・装飾用のシール式ステンシル型紙や他のマスキング(ペイントテープ)を使用する場合は、塗料が硬化するまで(48時間以上)、装飾モチーフを塗面に置かないでください。
- ・壁面の塗布を開始したら、塗り継ぎを避けるため中断せず、続けて仕上げてください。
- ・塗布の段階では、排気ガスの発生や有毒物が放出されることはありませんが、換気を良くして作業してください。
- ・良好な仕上がりを得るため2回塗りしてください。
- ・塗装する素地が十分な強度があることをご確認の上でご使用ください。

使用上の注意: 通常の作業で特別な病状のない人は特になし。お子さまの手の届かないところに保管してください。

本シートにて指定された使用方法・条件にしがわれない使用の場合、製造者は製品に関する一切の責任を負いかねます。



シールド塗料 導電性電磁波シールド



使用上のアドバイス

高周波・低周波の電磁波の遮蔽。例えば、携帯電話基地局、地デジテレビ無線局(TDT)、無線アンテナ、Wi-Fi、無線LAN、港・空港のレーダー、デジタルコードレス電話(DECT)およびワイヤレスネットワークの電磁波を遮断します。本品のご利用は、簡易移動電話網のデータ傍受を防止したり、会話の盗聴防止に有効です。また、ご家庭では、不眠や免疫力の低下をはじめ、マイクロ波に継続的にさらされることに起因するその他症状や疾病など、人間の生活の質に多大な影響を及ぼす高周波・低周波の電磁波の遮蔽にご利用いただけます。



オリジナル製品の容器 イメージ
実際の容器の色やデザインは変更することもあります

本シートにて指定された使用方法・条件にしたがわない使用の場合、製造者は製品に関する一切の責任を負いかねます。

